

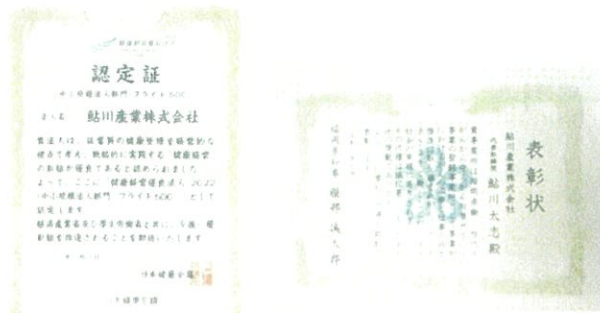
令和3年度健康づくり優良事業所 **ゴールド**

鮎川産業 株式会社

DATA

業種：道路貨物運送業 従業員：48人
〒807-0813 北九州市八幡西区夕原町4-16

＼継続した取り組みが結果に結びつきました！



健康宣言を始めて3年。

経産省の健康経営優良法人のブライツ500の認定、また健康づくりの優良事業所として県知事表彰を受けるに至り、自社ホームページで情報を発信しています。

また、東京の同業者から質問や、地元経済誌からの取材を受けるなど、自社の広報にも繋がりました。

社員の健康づくりのために
“今できること”を着実に継続する

社員の健康づくりの一環として、『血圧測定』と『ラジオ体操』を継続して実施しています。血圧計を休憩所に設置し、社員は自由に測定ができます。自身の体調管理のために、毎週月曜日は必ず全員血圧を測り、ひとつの目安にしてもらっています。

また、ラジオ体操を毎日就業前に行い、出社から仕事モードへの切り替えスイッチとなっているため、気持ちにメリハリがつくようになりました。



【担当者様よりひとこと】

2021年に続き、2022年も「健康経営優良法人2022(中小規模法人部門・ブライツ500)の認定を2年連続でいただきました。今年度の健康づくり計画につきましても、協会けんぽ様よりご案内頂いた“肝炎ウイルス検査”を全員対象に行う計画があります。また、県保健医療介護部様と連携した“がんの治療と仕事の両立支援”を今年度も推進して参ります。

経年でみる健診結果と 事業所主体で保健指導を実施

健康づくりを進めるにあたり、健診結果を社員と共有し、しっかりフォローする体制を整えることは非常に重要です。当社では、毎年同じ健診機関で受診し、結果を経年で確認できるスタイルに変えました。経年比較ができるようになったため、会社もより細やかなフォローがしやすく、また本人の意識も変わってきました。「要観察」の所見がある社員に「案内がでていますよ」とひと声かける、かかりつけ医がいない方の相談にのるなど、受診を促す環境づくりにも努めています。

健診後の、特定保健指導も積極的に利用しています。当社は大型の貨物運送を取り扱っており、夜間の勤務が多くなるため、どうしても食生活が不規則になりがちです。そのため、メタボに該当してしまう社員もいます。そこで、仕事や時間を調整し、協会けんぽの保健指導が確実に受けられることが出来るよう、事業所が主体となって環境を整えています。なかなか自分ひとりで行動変容を起こすことは難しく、すぐに結果がでにくいものですが、継続して取り組むことで年々メタボを卒業する社員が増えています。

外部のサポートを活用したストレスチェック

社員のメンタル面でのフォローのためにストレスチェックも非常に重要です。当社が加入している保険会社のサービスを利用し、回答から産業医の結果確認まですべてオンラインで完結させています。ストレスチェックの結果、高ストレスの社員については、産業医からのサポートを受ける、勤務時間を見直す等早めの対応を心がけています。今は保険会社等外部のサポートも充実しているので、部分的に活用することで、取り組みの幅を広げるきっかけにもなっています。



(佐藤様) (鮎川様)

【ご対応】
代表取締役 鮎川 太志 様
総務部 佐藤 真一 様